

白内障の手術を受けた後、両目から涙が出て困っています。車の運転にも支障を来しています。主治医は「内視鏡で手術はできるが、ドライアイになって困るかもしれない」と言います。どうしたらいいのでしょうか。
(87歳、男性)

鼻涙管閉塞症



松場真弓医師

相談された方は白内障手術後に涙が出て困り内視鏡手術を勧められています。これは涙道内視鏡のことでしょう。鼻涙管は

く形になり、涙が完全に止まることはあまりありません。閉塞部が涙の流出口である「涙点」や、涙が集まる涙嚢の入り口にある「総涙小管」などであれば、一度の治療で改善することが多く、チューブ治療をお勧めします。しかし、涙嚢の直下にある鼻涙管が閉塞している

間程度。根治率は90%以上と高いです。鼻涙管の閉塞は後に涙嚢炎を起こすことが多く、根治しておくことが必要です。顔の中心部で起きる急性涙嚢炎はつらいです。

内視鏡手術後、涙が乾くドライアイを懸念されていますが、このケースでは困るほど涙が分

バイパス手術で涙道確保を

涙の通り道で、閉塞すると涙が鼻に流れず、外側にあふれます。涙道内視鏡手術は、局所麻酔の上で閉塞部を突き止めて解除し、専用の管を1〜2カ月入れて涙の通り道(涙道)を確保します。ただしチューブを入れて

いる間は、ある程度涙道をふさぐと、チューブ抜去後に再発する頻度が高いので、最初からバイパス手術を推奨します。

涙嚢と鼻を通じさせる涙嚢鼻腔吻合術というバイパス法で、涙嚢と鼻の空気の通り道「中鼻道」の間の骨を切除します。全身麻酔で行い、手術時間は1時間程度です。

以前に困っていない

ればドライアイになる頻度は少ないはずですが、ただし加齢によりドライアイは進行するので、治療しない選択もあると考えてください。

(兵庫真医師会、松場真弓) 神戸市兵庫区、川崎病院眼科部長